

平成27年10月発行

11月1日～7日は
文化財保護強調週間

ぶんかざい おおた 第18号

文化財愛護シンボルマーク



文化財まもるくん



文化財保護強調週間は、今年で62回目を迎えます。1949(昭和24)年1月26日、世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し壁面が焼損したことは、国民に強い衝撃を与えるとともに、太平洋戦争後の文化財の散逸、荒廃も憂慮され、翌年には「文化財保護法」が施行されました。11月3日「文化の日」を中心とする「文化財保護強調週間」や「文化財保護強調週間ウィーク」等として、全国各地で文化財関連のいろいろな行事や事業が開催されていますので、是非ご参加いただき、文化財に親しんでお楽しみください。

平成27年度文化財講演会

「遺跡の科学捜査－最新の測量調査と地中レーダー探査からわかること－」

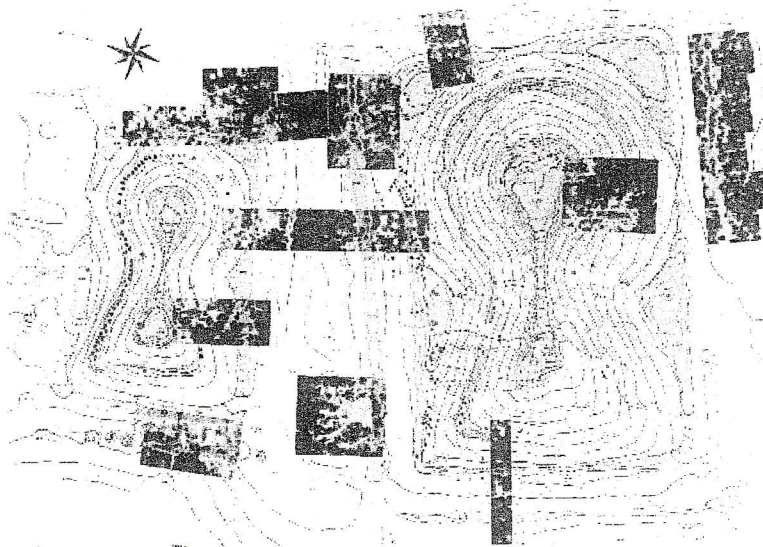
遺跡とは、大昔の人々が残した様々な生活の痕跡です。大田区にも236箇所(平成26年3月現在)という数多くの遺跡がありますが、そのほとんどは地面の下に眠っていて、普段、私たちが目にすることができるのは、多摩川台公園内の古墳群など、ごく一部に限られます。

また遺跡の発掘調査は、数百年から数千年、時には数万年にもわたって積もった土を掘り起こし、取り除いてしまうため、二度と同じ条件で実施することはできません。発掘調査もまた、遺跡の破壊なのです。

近年、急速に発達するデジタル技術を用いて、精度の高い測量調査や地中レーダー探査によってあらかじめ遺構の存在や性格を推定し、限定的な発掘調査を実施することで、遺跡へのダメージを最小限に抑えながら、最大限の情報を効率的に引き出そうという試みが行われています。

研究の最先端を実践する講師の立場から、最近の調査事例を紹介しつつ、遺跡調査の将来と文化財保護との関わりについて講演します。

※講演会の詳細については裏面の「ご案内」をご覧ください。



千葉県横芝光町殿塚・姫塚古墳の測量・地中レーダー調査(2012年)

埋蔵文化財調査報告

久ヶ原遺跡の調査

平成26年度は、久が原四丁目23番での建設工事に伴い発掘調査を行いました。

久ヶ原遺跡（大田区遺跡No.81）は、弥生時代後期（1世紀～3世紀ごろ）の大規模な集落跡で、久が原四丁目～六丁目、千鳥一丁目にかけての台地上に位置します。

以前にも紹介しましたように、近年の調査の成果により、久ヶ原遺跡が位置する台地の中央部には方形周溝墓と呼ばれる墓が群在し、墓域が形成され、その周りに集落がつけられたことが明らかになりました。

さて、今回の調査地点は、遺跡の北東端にあたり、この周辺では、弥生時代後期や古墳時代初頭の住居跡が見つかっています。

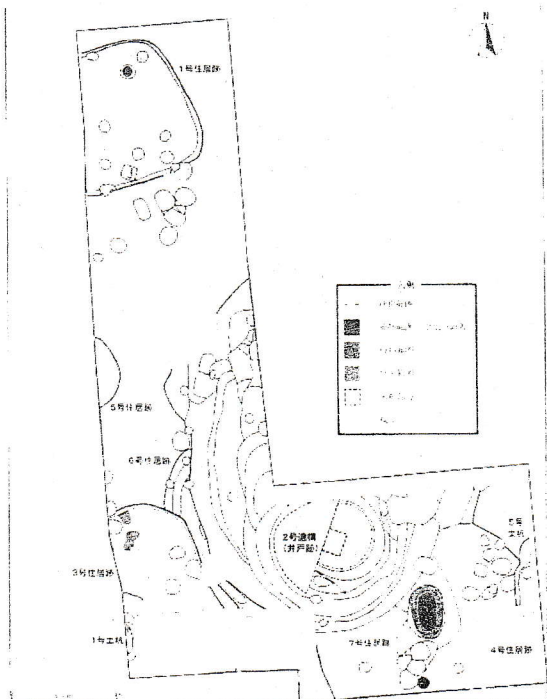
今回の発掘調査の成果は、約58㎡の調

査範囲の中で弥生時代後期の住居跡が6軒、弥生時代と古代の土坑が、それぞれ1基、近世の井戸跡（2号遺構）が1基、発見されたことです。近世の井戸跡は、調査当初に平面上で検出した際には、複数の住居跡が重なったようにも見られことから、まずは2号遺構と名付けました。その後、調査を進めていく中で遺構の平面だけでなく、断面の観察から、井戸であることがわかりました。

井戸の構造は、北側から水を汲むために昇り降りするための段を設けながら、南側に向かって緩やかに掘り進められ、途中から垂直方向に掘られています。この井戸が掘られたことによって、2軒の弥生時代の住居跡が壊されたこともわかりました。

弥生時代後期の住居跡は、調査範囲の関係から、いずれも部分的な調査となりました。住居跡の平面の形が推測できるのは、1号、3号、6号、7号住居跡で、いずれも隅丸方形を呈すると考えられます。

また、調査した範囲で炉跡が見つかっているのは1号と7号住居跡で、7号住居跡では、1号住居跡と同様に住居の床の地面を少し掘り窪めて炉が設けられているほかに、床の地面に直に火を焚いた炉も見つかっています。



遺構配置図



7号住居跡と井戸跡 (写真手前)

なお、3号住居跡が位置する場所には、住居が使用されなくなった後、埋まっていく過程で新たな掘り込みが行われ、土

坑がつけられたことがわかりました。(1号土坑)。さらに、この土坑の中で火が使われたこともわかりました。この1号土坑は弥生時代後期の遺構であることから、3号住居跡よりも時間的に新しいものであることがわかります。

今回の調査では、限られた範囲の中ではあるものの、弥生時代後期の住居跡が6軒見つかっており、すべての住居が同時につくられ、使用されたわけではありませんが、遺跡の北東隅においても住居が密集してつくられている状況が明らかとなりました。



みなみくがはら 南久が原二丁目4番横穴墓の^{よこあなほ}人骨



南久が原二丁目4番横穴墓(大田区遺跡番号236)は、平成25年5月に新たに発見された、7世紀末～8世紀中頃の横穴墓です。墓室にあたる玄室から、成人とみられる人骨1体が仰向けに安置された状態で発見されました。

この人骨について、昨年度に聖マリアンナ医科大学解剖学教室の長岡朋人准教授・平田和明教授による鑑定が行われました。その結果、性別は女性、死亡年齢はおおよそ30～60歳と推定されました。

大田区ではこれまでも数多くの横穴墓が発見されていますが、横穴墓は「家族墓」的な性格を有するため、複数の人間が埋葬されることが一般的です。しかし、時代が下ると小型化し、単独の埋葬が増えてきます。中には最初からそれを目的としたかのような、非常に小さなものも存在します。

追葬を前提としてつくられるようになった横穴墓ですが、女性が単独で埋葬される背景には、葬制にまつわる古墳～奈良時代当時の地域社会や家族のあり方と

深い関係があるものと考えられます。

平成26年度 埋蔵文化財調査件数

- 発掘届：104件
- 本調査：1件(久ヶ原遺跡)
- 試掘調査：2件(久ヶ原遺跡・大森ホテル遺跡)
- 確認調査：1件(多摩川台公園内横穴墓他)

平成26年度 文化財保存事業報告

★ 都指定無形民俗文化財「双盤念仏」伝承基盤整備事業

独特の節で念仏を唱えながら、双盤(直径50cmほどの金属製の鉦)を打ち鳴らすことから双盤念仏と呼ばれます。保存団体として4団体が認定されていますが、23区では今泉延命寺双盤講が唯一です。

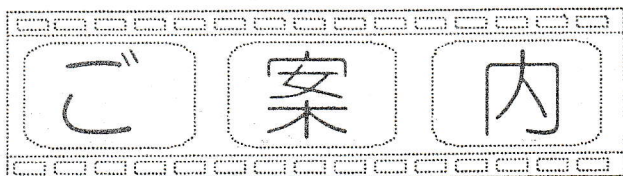
「十夜法要」に欠かせない道具である半鐘は落下により欠損し、音色が悪くなったため、また双盤用の特殊用具である撞木も消耗品で傷みが出てきたため新調し、さらに文化財名や団体名を明記した半てんも新調しました。今後の伝承・公開活動が期待されます。

伝承地：延命寺(矢口2-26-17)

★ 区指定無形民俗文化財「六郷神社獅子舞」の道具整備事業

この獅子舞の大きな特色は、子どもたちが3匹獅子とササラの役を演じることです。獅子舞の進行等、演技を補佐する役割を持つ「^{なかおどり}中踊」と呼ばれる道化が着用するひょっとこ面は、かなり古くから使われてきたもので、このまま使い続けると損耗のおそれがあるので、原物を保護するため、模刻品を制作しました。

伝承地：六郷神社(東六郷3-10-18)氏子園



東京文化財ウィーク

文化の秋、都内全域で文化財をより身近に感じていただくため、国・都指定文化財をお見せする公開事業のほか、各区市町村等による文化財に関連した企画事業が行われます。

★ 企画事業

10月1日(木)～11月30日(月)

♡ 特別公開

10月31日(土)～11月8日(日)

大田区では、次のような事業を行います。皆様のご参加をお待ちしています。

★ 文化財講演会

「遺跡の科学捜査—最新の測量調査と

地中レーダー探査からわかること—

最新のデジタル技術を用いた古墳・古代寺院などの調査・研究成果について講演します。

日時：10月25日(日) 午後2時～4時

場所：田園調布富士見会館多目的ホール

講師：城倉正祥氏（早稲田大学文学学術院准教授）

問い合わせ先：教育委員会 文化財担当（郷土博物館内）

★ 文化財保護協調週間記念

「文化財写真パネル展」

平成26年度の文化財に関する主な事業を写真と解説文で紹介します。

日時：10月20日(火)～22日(木)

会場：大田区役所1階ロビー

★ 博物館講座

「縄文時代の植物利用」

縄文時代の植物利用をテーマに、縄文人の食生活や手工業製品について講演します。

日時：①10月11日(日)・②10月18日(日)

※いずれも午後2時～5時

会場：大田区立郷土博物館

問い合わせ先：大田区立郷土博物館 (TEL:03-3777-1070)

♡ 文化財の公開

①大坊本行寺（池上2-10-5）

- ・「法華経板木」都指定有形文化財

11月3日(火・祝)、午前9時30分～午後4時
当日、現地へ。

- ・「日蓮上人入滅の旧跡」都指定旧跡

通年公開 午前9時30分～午後4時

②池上本門寺（池上1-1-1）

- ・「本門寺五重塔」国重要文化財指定

外観のみ公開 午前9時～日没

- ・「池上本門寺宝塔」国重要文化財指定

外観のみ公開 午前9時～日没

- ・「奥絵師狩野家墓所」都指定史跡

通年公開 午前9時～日没

③多摩川台公園（田園調布1-63-1）

- ・「亀甲山古墳」国指定史跡

- ・「宝菜山古墳」都指定史跡

- ・「多摩川台古墳群」都指定史跡

通年公開 午前9時～午後4時30分

ただし、月曜及び年末年始を除く。

④大森 海苔のふるさと館（平和の森公園2-2）

- ・「大森及び周辺地域の海苔生産用具」

国重要有形民俗文化財

通年公開 午前9時～午後5時

ただし、第3月曜（祝日の場合は翌日）及び
年末年始を除く。

6～8月は午後7時まで。

◆ 東京文化財ウィークガイドブックの配布

特別公開・企画事業や通年公開の日程や内容等が掲載された冊子です。

配布場所：郷土博物館

※数に限りがあります。配布終了の際は、ご了承ください。

2015(平成27)年10月

大田区教育委員会 文化財担当 編集発行

〒143-0025 大田区南馬込5-11-13

TEL:03-3777-1281 FAX:03-3777-1283